

未来

につながる

情報化

社会

日常生活の
中の
技術革新

近年、雑誌やテレビ等で特集を組まれることが多いIoT社会。ビル、工場の生産ラインやエアコン等の制御管理だけでなく、Apple Watchやバスの到着案内サービス等の様に、モノがインターネットにつながった世界が私たちの生活に身近なモノとしてますます存在感を増しています。これらの技術は、新たな経済発展や社会的価値を創り出すと想定され、第4次産業革命とも言われています。産業革命等の歴史を辿れば、技術がそれまでの社会のあり方を変えることは必然でもあります。

そこで今回は、「未来につながる情報化社会」と題して、日常生活の中の技術革新について、今、注目される最新のテクノロジーがどのようなものなのか、また、私たちの社会にはどのような影響を及ぼし、私たちの生活はどのように変わっていくのか、さまざまな分野からアプローチし、考えてみたいと思います。

主催 京都大学 後援 京都府・京都市 講演時間 各回18時30分~20時 **参加費 無料**



開催場所 「京都アカデミアフォーラム」 in 丸の内

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階



申し込み方法

[お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込みください。各回定員120名、締め切りは4月18日(水)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、申し込み多数の場合は、抽選となります。詳しくはホームページをご覧ください。



スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。

問い合わせ先

京都大学総務部渉外課 京都市左京区吉田本町

TEL) 075-753-2233 (月~金 9:00~17:00) FAX) 075-753-2246 E-mail) event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

URL) http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open_course/kyoudainochi

第1回

子どもたちと機械翻訳が世界を繋ぐ

5月15日(火)

石田 亨

情報学研究科 教授



情報学研究科社会情報学専攻では、22カ国177組織の協力を得て、さまざまな言語の辞書、用例、機械翻訳等、225のサービスを提供しています。このサービスを利用して、NPO/ベンチャーと協力し、世界の子どもたちを繋ぐ活動を行ってきました。この講演では、機械翻訳を用いた子どもたちの驚くべき協働と、それを支えるNPOの奮闘ぶりを紹介します。

第2回

コンピュータ技術は医療をどう変えようとしているのか

5月22日(火)

黒田 知宏

医学部附属病院 教授



1999年に電子カルテが解禁されて以来、診療現場の電子化は極めて速い速度で進み、今やコンピュータ無しで診療・医学研究を行うことはできなくなってきています。最新の情報技術は、少子高齢化と医療費高騰等の問題をどう解決し、医療全体をどう変えようとしているのでしょうか。この講演では情報技術のある社会の医療の姿を、京大病院を窓にして覗いてみます。

第3回

情報化の進展と都市交通の変革

5月29日(火)

宇野 伸宏

工学研究科 教授



ICカード、ETC2.0等のビッグデータ活用により交通システムの実態把握が進み、混雑緩和のための情報提供、課金等のマネジメントの実効性が高まっています。移動手段のシェアリングや自動運転の開発等も進み利便性向上が進む一方、課題も見えつつあります。本講演では情報化に伴う交通システムの変革について述べた上で、研究課題、取り組みの一端に触れていきます。

第4回

防災・減災における情報化 先端的な技術はどのように使われるのか

6月5日(火)

畑山 満則

防災研究所 教授



阪神・淡路大震災以降、防災や減災の現場においてロボット技術や情報通信技術の活用が期待されています。本講演では、防災・減災の現場におけるドローン、AI、ビッグデータ、IoT等の先端技術の応用事例を紹介し、防災や減災がどのように変わっていくのかについて議論していきます。